

仕事納め式での挨拶

平成 22 年 12 月 28 日

おはようございます。仕事納めにあたりまして、一言、ご挨拶申し上げます。

一年を振り返りますと、県民の皆様の生活に直結する県の経済、あるいは日本の経済はどうであったのか、またその動きに対して県が的確に対応してきたのかどうか、というようなことが気になります。

2年前のリーマンショックによりまして急激な経済の落ち込みがありました。本当につるべ落としのような落ち込みでしたが、それに対しまして、国も県も累次の経済対策を打ってきたわけであります。

そうした中で中国など新興国の景気の拡大が続き、これが、日本の輸出の増加、そして県内企業からも輸出が好調な企業の雇用の拡大、販売の拡大などがありまして、日本全体も島根の経済も、ある程度、回復に向かってきた。今年一年はそういう年であったと思います。

しかし、円高の急激な進行、あるいは欧米経済の停滞などから現状ではまだまだ景気回復の足取りは不安定であります。また先行きに、雇用の不安でありますとか、不透明感が相当あると私はみております。

そうした中で、この一年、県は累次の補正予算を組んだり、あるいは、その執行に大わらわになってきました。職員の皆さんも新たな課題ができたり、仕事量が増えたり、いろいろ大変だったことと思います。

また年が明けますと、年末の国の予算編成に呼応いたしまして、県としましては、2月議会に向けまして、景気・雇用対策、産業振興、インフラ整備、あるいは、医療・福祉の充実など各般の施策を展開するよう、補正予算や来年度予算の編成等の作業にあたらなければなりません。

そういうわけで、忙しい一年ということでしたが、年末のこの一ヶ月も大変忙しかったのはご承知のとおりであります。11月30日に起こりました鳥インフルエンザは農林水産部に限らず、関係の皆さん、県庁内の多くの皆さんの動員をさせていただきまして、この処理にあたったわけです。徹夜の作業があったり、寒風吹きすさぶ中で消毒作業に従事したり、大変つらい作業にあたっていただいたわけです。

延べの人数でいいますと、県職員がこの間に1300人くらいの方に出動していただいております。国、市町村などからも動員をしていただいて、総数で3000人くらいの方々がこうした作業にあたってくださったわけです。皆様のご苦勞もあって、早期に防疫の作業を完了させることができ、昨日の午前0時に移動制限などの解除ができたところで

あります。関係の皆さんのご努力に対しまして、深く感謝申し上げるとともに心身の休養をとられますようお祈りする次第であります。

他方で、報道にもありますように、日本各地で渡り鳥の感染事例がみられるわけがあります。養鶏の鶏舎のなかでは感染が食い止められておりまして、その外には鳥インフルエンザがかなりひろまっていると思われるわけがあります。引き続き、気を引き締めて感染防止に万全を尽くす必要がありまして、皆さんにも引き続きのご努力をお願いする次第であります。

鳥インフルエンザの他、今年は、いろいろなことがありました。7月には思いがけない土砂災害で貴い人命が失われました。夏の猛暑も大変な被害でありました。

また、萩石見空港の路線の縮小、あるいは日航の再建にともなう航空路線のやや後退などの問題も多くあったわけであります。

さらに昨年の県立大学の平岡都さんの事件につきましては、県警が本当に一生懸命取り組んでおられますが、一日も早い解決が待ち望まれております。

他方、明るい話題もあったように思います。一つには島根で初めてスサノオマジックというプロスポーツチームができたということでありまして。厳しい闘いを繰り広げておりますが、初年としてはよく健闘していると思います。多くの方々がテレビや実際に観戦して声援を送っておられます。ブースターの方々は今現在、7500人くらいおられます。3万人を目指して応援体制を築こうというので努力をされています。皆さんにも一つご尽力を賜れば幸いです。

また、将棋の里見可奈さんは、あの若さで女流3冠を達成されました。島根の皆さんに、大きな驚きとともに喜びを与えて下さいました。映画やテレビでは、島根の存在を知らせて下さるような作品がいろいろ続きました。「ゲゲゲの女房」は全国的に大人気ですし、「レイルウェイズ」は、一畑電車の世界、あんな世界が残っているのかということを知らせてくれる映画で、大きな話題になりました。

スポーツでは、国体で宇野信之君がレスリング少年男子で優勝、また錦織育子さんが棒高跳び成年女子で優勝されました。また文化面では、合唱、あるいは吹奏楽、演劇等々で中・高校生が全国一位になるといったようなことも続きました。

今年一年を振り返りますと、厳しいこと、難しいこと、そして明るいことなど、いろいろあったわけでありまして。そうした一年もあと数日で終わりますが、私どもが今年取り組んできたいろいろな課題の解決には、来年も引き続いて、取り組んでいかなければならないのであります。いろいろ厳しい課題に、我々は一丸となってあたって、努力していかなければならないのであります。

これからの正月には、例年と比べて短い正月休みのようなのですが、ゆっくり休養され英気を養われますよう期待を申し上げるわけです。

県庁の職員の皆さんにそれぞれにとりまして良い年になりますよう、心から祈念を申し上げます、仕事納めにあたってのご挨拶といたします。